

S H U O G A W A R A M U S E U M O F A R T



太陽と馬 1967年

# 小川原脩展 遙かなるイマージュ

Shu Ogawara Retrospective Exhibition ~Images Afar

私の心の内側で  
求めて止まないもの  
それが  
〈遙かなるイマージュ〉

2026.1.24 |土|-3.29 |日|

小川原脩記念美術館 第2展示室

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日／毎週火曜日

観覧料／一般500(400)円、高校生300(200)円、小中学生100(50)円 ( )内は10人以上の団体料金

展覧会初日(1月24日)は観覧無料

後援／北海道新聞社俱知安支局



小川原脩記念美術館  
Shu Ogawara Museum of Art

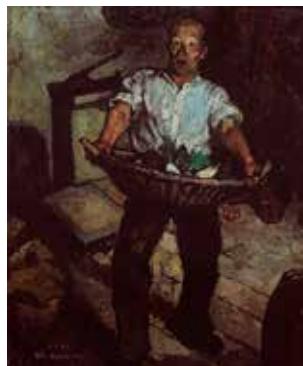
〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)  
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>

## 遙かなるイメージを—

時流はどうであれ、様式が何であれ、場がどこであれ、〈個〉としての私が目指すものは、とても手のとどかない高さにあるものと知りつつも、それに近づく為の努力ではなかろうかと思うようになった。その積み重ねだけが私をかり立ててくれるのだ。私の心の内側で求めて止まないものから視線をそらした時、それはもう芸術では無くなる。私は今も芸術はただの飾りではないと固く信じている。それが〈遙かなるイメージ〉の意味するものなのかもと思う。

小川原 僕

時流に翻弄されつつも、「豊かな自閉」と呼称し地方から社会を注視した画家・小川原脩。常に新たな芸術と社会のさまざまな潮流を感じ取りつつも、〈個〉としての自らの創作姿勢を貫いた70年におよぶ画業を辿ります。



納屋 1933年



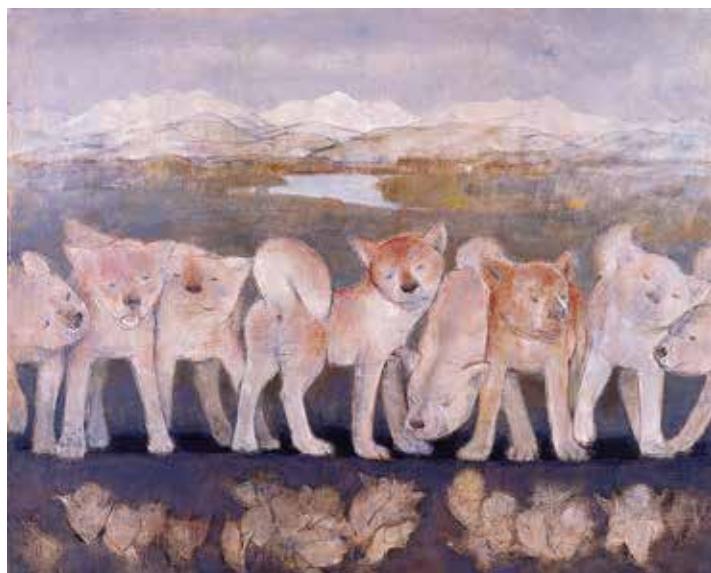
人間の季節 1938年



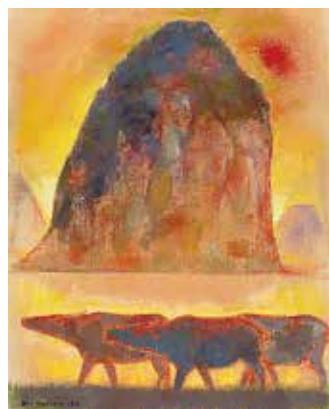
フゴッペ変奏曲 1959年



大白鳥 1973年



早春 1977年



漓江 1980年



巡礼家族 1983年



小川原脩

1911-2002

北海道・俱知安町生まれ。旧制中学(現・俱知安高校)で油彩を始める。東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科に入学。在学中に「納屋」(1933年)が帝展に入選。卒業後、福沢一郎らと出会い「エコール・ド・東京」「創紀美術協会」「美術文化協会」などの結成に参加。シュルレアリスム絵画への道を歩んだが、軍の規制が厳しくなり断念。その後、軍の命令により戦争記録画を制作。

戦後は郷里・俱知安に戻り、岩船修三、木田金次郎らと「全道美術協会(全道展)」の創立に参加。1958年、野本醇、因藤壽、穂井田日出磨らと「麓彩会」を創立。1975年、北海道文化賞受賞。1994年、北海道開発功労賞受賞。この年、小川原脩画集(共同文化社)を出版。

戦後、俱知安町に定住してから半世紀以上、新たな造形の可能性を求め続けたが、とりわけ70歳を目前にして訪れた中国、チベット、インドでの体験を契機として創作の新境地を拓いている。

### ●同時開催.....

#### 小島英一展 B. M. WOMAN

2025年12月13日(土)～2026年3月29日(日)

### ●会期中のイベント.....

#### Winter White Concert ~リズムの愉しみ

2026年1月24日(土) 14:00～15:00

出演:大川麻理さん(フルート)、大家純子さん(ピアノ)

#### ギャラリー・トーク(学芸員による本展解説)

2026年2月14日(土) 14:00～14:30

### ●次回開催.....

#### 神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館所蔵作品交換展 「二人の歩んだ道」

2026年4月11日(土)～7月12日(日)



小川原脩記念美術館

Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡俱知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)  
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>